

【表の見方】

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文、自己アピール文の提出のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。

評価方法	割合
学力検査の成績を重視	15%
個人調査書等を重視	15%
個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に見る	70%

普通科以外の
学科について
は、道内全域
です。

学校名・学科名の
表記は、6月に発表
の公立高等学校配
置計画案に基づい
ています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。
(例) 数・理・英(1.5)
数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各90点満点となります。

実施する内容に○を記入してあります。
「過年度卒」の○は、過年度卒業者の
みを対象とした面接の実施を表してい
ます。

学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。

個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。

個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって重視する項目に○を記入してあります。「総合所見等」とは「総合所見及び指導上参考となる諸事項」を表しています。

選抜に当たって、面接や実技、作文などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

【一覽表】

学 区	学 校 名	学 科 名	推 薦 入 試						一 般 入 試													
			入学枠 (%指定)	面接以外に実施する項目					学力検査等の実施					複数尺度による選抜で重視する項目								
				英語の リス テス ト	開 答 に よ る	実 技	作 文	自己ア ピール の 提 出	学 力 検 査 量・ 時 間 配 点	傾 斜 配 点 の 教 科 (倍率)	実 技	作 文	面 接 全 員 個 人	過 年 度 卒 個 人	学力検査の 成績を重視		個人調査書等を重視					
															学力：評定		評定：学力		個人調査書		特別活動の記録 総合所見等	
上川南	旭 川 永 嶺	普 通	20				○	◎						○	9：1	6：4						

平成30年度公立高等学校入学者選抜における普通科の「推薦の要件（志望してほしい生徒像）」

学区	学校名	学科名	入学枠（％程度）	推薦の要件（志望してほしい生徒像）
上川南	旭 川 永 嶺	普 通	20%	単位制高校の特色を理解し、次のいずれかに該当する生徒 1 学業人物に優れ、大学進学等、進路目標に向けて意欲的に取り組む生徒 2 スポーツや芸術等の分野で活躍し、入学後も継続して学習との両立を図る生徒